



小網代通信

発行：小網代ヨットクラブ
〒238-0225
神奈川県三浦市三崎町小網代
1385-18
編集：広報委員会
編集長：里吉美恵子
連絡先：office@koaziroyc.jp

Koaziroyc Club

2024年12月号 VOL-318

2024.12.10 発行

今月の内容

ページ

連絡事項	(編集委員).....	1
「2024年ミニクリスマスパーティー開催報告」	(ミニクリ有志スタッフ).....	2
「第3回オリエンテーションと救命講習開催」	(編集子).....	3~4

今後のイベント予定

12月 KFR :12月15日(日) Eコース 10:25 スタート予告信号 15:00 タイムリミット
 総務委員会 :12月16日(月) 19:00~ ハイブリッド(品川でリアル会議とZoom会議)

連絡事項

- ハーバー整備作業は、10月26日(土) 27日(日)と11月9日(土) 10日(日)の4日間で行われました。作業にあられた漁協の皆様、KYCハーバー管理・整備委員会の皆様ご感謝いたします。2025年も2回の作業が計画されています。各艇のご協力もよろしくお願いいたします。



- 9月、10月と荒天により中止を余儀なくされていた KFR ですが、11月の KFR は順風となり16艇(内1艇コミッティ)の参加賜を得て久しぶりの開催となりました。結果は IDEAL がファーストホーム、修正ともに1位となり優勝しました。
- 12月7日(土)、年末恒例のミニクリスマスパーティーが有志主催で開催され、多くのメンバーにお集まりいただき、有志手作りの美味しい料理をいただきながら楽しい時を過ごしました。この内容は2ページに掲載しています。



2024年 ミニクリスマスパーティー開催報告

ミニクリ有志スタッフ

12月7日土曜日 13時～15時に開催、28名の参加者とスタッフ8名が集いました。

初めて参加された方も多く、主催者が意図することなく参加者同士で会話が弾み、今まで言葉を交わしたことがなかった方と船の話や情報を聞くことができたことと喜んでいただきました。初めての方からはこういう会だったのですねと評価していただきました。今回は、来年小網代ヨットクラブが70周年にあたるので、クラブハウスができました年に開催した写真展の折に展示したパネルを再展示いたしました。これらの写真は、ヨットクラブの前身、小網代フリートができた頃の艇や小網代泊地の風景で「HURUTAKA」初代オーナーの福永 昭様が提供してくださったものです。小網代通信10月号で福永様の「クルーザー読本」をご案内しましたが、その後11月20日に急逝されました。その当時に活躍されました方々の訃報が続きましたこともあり、写真とともに献杯をさせていただきました。



また、「波勝」の吉岡様からは、ご友人の素敵な方からの小網代ヨットクラブに向けた色紙（下段：左の写真の中に）をいただき、それも掲示しました。小網代通信の第1号に掲載の小網代で撮影された写真の方です。さて、どなたでしょうか？ お分かりになる方はメンバー歴が長い方か、サユリストですね。参加が叶わなかった皆様からのご寄付や景品を、また、参加者の皆様からのご自慢のお料理やお菓子などご持参いただきました。楽しい時間を年の瀬に共有できましたことに感謝いたします。



第3回 オリエンテーションと救命講習開催

- ◆日時：11月30日（土）9:00～12:30
- ◆場所：クラブハウス2Fサロン
講師：クラブハウス委員長 高橋尚之
- ◆対象艇：学生艇（仰秀）

1. クラブ運営機構クラブハウス利用規則などのオリエンテーション（クラブハウス利用上の注意や学生規約の説明）
2. 胸骨圧迫による心肺蘇生法を中心とした救命講習（AED操作含む）



◆◆◆終了後の参加者の皆様から感想をいただきました。◆◆◆

仰秀 3年 主将 源 優介

知識としてあまだった部分が補強された上に、実際にヨットの上で行う場合どうすればいいか考える大変いい機会になりました。J/24の上で手当を行うにはどこでやるのがいいか考えたこともなかったので、安全にセーリングを楽しむためにあらためて安全管理の意識を高めていきたいと思いました。本日は大変ありがとうございました。



仰秀 3年 杉山 太智

過去にも胸骨圧迫や AED の使用方法を教わったことがありましたが、実践しないうちに記憶から抜けており、今回丁寧に教えていただき復習することができて大変有意義でした。雨の日も風の日も海に出て練習する我々は、常に危険と隣り合わせであり応急処置の技能・知識をもっておくことの重要性を再確認する機会となりました。これから安全第一で落ちついて処理することを心がけつつ、ヨットクラブを適切に利用させていただきたいと思います。ありがとうございました。



仰秀 3年 梅山 果子

本日は、救命講習をして下さり、ありがとうございました。救命講習自体は小学校、中学校、高校と何度か受けたことがあるのですが、普段使用しないぶん、やはり忘れてしまうので、仲間の命を守るためにも定期的に復習する必要があると感じました。また、気道異物除去法の実践は今回が初めてだったのですが、テキストで見ているよりも難しく感じました。



仰秀 2年 木藤 大和

実際の AED や人体人形を使った救命講習は、なかなか機会がなかったので、本当に貴重な経験でした。陸上のみならず、海上での有事、セーラーとして今後も安全への意識を日々忘れることのないよう十分に注意していかねばと改めて感じ入りました。貴重な機会をお作り頂き、ありがとうございました。

仰秀 2年 古川 諒真

この度は貴重なお時間を使い講習をしていただき、まことにありがとうございました。これまで高校の保健の授業や自動車運転免許取得の際など、いくらか応急手当の講習を受けてきましたが、忘れていたことも再確認でき、非常に助かりました。今後も忘れてしまわぬように、また即座に行動ができるように、復習を繰り返そうと心に刻みます。ありがとうございました。



仰秀 1年 小川 竜平

以前にも学校の授業等で救命講習を受けたことがあったが、動作を思い出したり、新しい知識を吸収する良い機会になりました。常に命の危険が伴うスポーツをしているという認識を改めて持ったので、今回得た内容は万が一のために忘れないでおきたいと思います。

仰秀 1年 高田 智彰

心肺蘇生のやり方は、学校等で聞いたことがあったが、止血と気道異物除去法について詳しく学んだのは初めてだった。止血の際に止血帯を付けてはいけないというのは何となく聞いたことはあったが、今回その理由を説明していただき、納得することができた。また、気管に異物がはさまってしまうことは、いつでもありうることであるから今回体験して、一度経験することができて良かった。今後、小網代や油壺周辺で活動していくにあたり、海上での万一の際の対応について再考する良い機会であり、失念していた状況についても考えるきっかけとなった。このような講習会を開いていただき、本当にありがとうございました。

■■■ 後日 御礼のメッセージが事務局宛に届きました ■■■

東京大学運動会ヨット部クルーザー班 仰秀の源です。
昨日は大変ありがとうございました。安全について改めて考え直す機会になり救命について学べた上、私たち学生が小網代ヨットクラブの一員となれるよう考えていただき大変嬉しかったです。昨日改めて教えていただいたルールを守ることはもちろんのこと、小網代ヨットクラブのイベントや運営に関わっていけるよう努めてまいりますので今後ともよろしくお願いたします。



▼ 講師から「止血法」で一言 ▼

市民への救命救急講習や練習では、今回説明した「直接圧迫止血法」のみを教えます。

「止血帯を使う止血帯法」は手足太い血管損傷による出血で、「直接圧迫止血法」では止血が困難な場合の最終手段として救急隊や医療従事者が行う方法です。

止血帯を使う方法は、神経損傷や筋肉損傷や坐骨神経群を引き起こすことがあるので市民は実施しないこととなりました。